

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 6月 7日

事業所名 石垣市障がい児通所支援事業所ひまわり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	1		基準は満たしていますが、曜日によっては多い日もある為安全面に配慮して活動を行なっています
	2	職員の配置数は適切である	1	2	3		職員数が少ないためパート職員を増やす予定。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1		設備の問題上、トイレや着替えの場所等の環境整備が整っていない状況がありますが、仕切りなど環境を整えていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	4			定期的な話し合いで行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2			評価表を回覧している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	1		評価表を回覧している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	1		心理士に保育観察を行い支援につなげていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	3		資質向上のため、研修を設ける
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			面談を通してニーズを把握している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2			新年度開始時や支援計画作成時にアセスメントツールを使用しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2			兼務する職員もいるため、チームとしての立案が出来ていないが今後できるよう努める
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2			一人の人が作成しているため、今後複数名で立案していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1			全体で動くことが多いが、その中で個別タイム等設け支援している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			全体で動くことが多いが、その中で個別タイム等設け支援している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2			職員全体にも活動の流れがわかるように改善する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5			退勤時間が異なるため、全員では難しいこともあるが、気づいたことがある時には話し合いの場を設ける等共有できるよう、情報共有できるよう努める
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4	2			勉強会などで今後行っていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5	1			保護者から年間計画書を頂き把握している が、細かい日程等はライン等で確認したり 行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	6				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	1			事業所間での情報共有は出来ているが、保 育所等との情報共有を図れるように努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	5	1			移行時の情報共有を行っているが職員への 周知が出来ておらず今後は周知を行って行 く。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	3	1		センターが近隣ではないが、臨床心理士に 活動等を見てもらい助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	1		近隣に子どもセンターはあり、少しずつ交流 ができています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	1	1		協議会内容について紙面の職員への周知 を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	1	3	1		ペアレントプログラム等開催を周知していく。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5		1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5		1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	3	1		コロナ後、保護者参加の行事も徐々に開催 できるようになってきた
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	1			状況に応じて対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6				毎月発行できたが、配布が遅くなること があった。今後は早めに発行できるよう努 める
	35	個人情報に十分注意している	5	1			資料等、速やかに個人ファイル等にしま うよう努めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6				お便り帳や、line等、電話等で情報伝 達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に関わった事業運営を図っている	4	1			コロナ後、鯉のぼり掲揚式など他事業所 を招くなどができてきた。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3			防犯マニュアルは未完成の為作成し、周知を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3			定期的な訓練を年間計画に入れ取り組む。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2			防止委員会主催の研修は実施しているが、職員の意識向上のため、市主催の研修など周知していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2			バギー使用している利用児の保護者へ同意書等交わす
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	1		用紙等取りやすい場所に設置し、記入しやすい環境を作り、事業所内で共有していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 6月 7日

事業所名 石垣市障がい児通所支援事業所ひま:保護者等数(児童数) 18 回収数 14 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	1	活動だけではなく、休養する子どももいるのでスペースは必要だと思う	曜日によっては人数が多いときもありますが、安全面に配慮し活動していきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	5			人員配置についてパート職員の増を検討中です
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	1	トイレの整備は必要だと思う	設備の問題上、トイレや着替えの場所等の環境整備が整っていない状況がありますが、仕切りなど環境を整えていきます
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	4			子どもたちの状況に合わせて楽しめる活動を検討しプログラムを作成しています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	6	1	利用時間の関係もあり実感できない	支援学校と市立の下校時間に差があることで、交流時間の確保が難しい現状がありますが、子どもセンターとの交流を少人数で行なっています
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	13	1		情報共有で学校側とも関わっているのので助かっている	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	2		コロナが明け保護者参加の行事が開催できるようになり、保護者同士の関わりは増えました
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3			相談等に迅速にできるよう体制を整えていきます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2			お便り帳や、line等、電話等で情報伝達を行っている。

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2			翌月の予定確認のミーティングを安定的に早めにすすめ、すみやかに発信できるよう対応します。
	14	個人情報に十分注意しているか	14				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3	1		防犯マニュアルは未完成の為作成し、周知を行っていく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3		訓練の様子を見たことがない。	下校後の時間が短く避難訓練が実施出来ておりません。今後は短時間でも実施できるよう努めます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14				
	18	事業所の支援に満足しているか	13	1			利用児にも、保護者にも満足していただけるよう、保護者と連携していく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。